

関係機関・団体長
病害虫防除員
農薬管理指導士

様

山口県病害虫防除所長

中山間地域における葉いもちの長期予報（技術資料第3号）について

このことについて下記のとおり送付しますので防除指導の参考にして下さい。

記

(1) 予報内容

ア 対象病害虫 イネいもち病（葉いもち）

イ 対象地域 中山間地域

下関市の一部（旧菊川町、旧豊田町）、萩市の一部（旧川上村、旧むつみ村、旧旭村、旧福栄村）、美祢市、周南市（旧鹿野町）、岩国市の一部（旧本郷村、旧錦町、旧美川町、旧美和町）、山口市の一部（旧徳地町）、美東町、秋芳町、阿東町

ウ 対象期間 6月下旬～7月下旬

エ **発生量** **少** （確率 少：61% 平年並：39% 多：0%）

(2) 予報の根拠

ア 葉いもち発生予察システム（BLASTAM）によると、葉いもちの発生と相関が高い広瀬、徳佐、秋吉台、西市のアメダスにおける6月6日～20日の好適条件出現回数は0回（平年1.7回）で少なかった（-）。（表1参照）

イ 6月16日に発表された気象予報では、向こう1か月の気温は平年並みか高く、降水量と日照時間は平年並みの可能性が高い（±）。

(3) 防除対策

ア 本年は、本田で水面施用剤を使用しなくても葉いもちによる被害が発生する可能性は低い（表2参照）。

イ 補植用苗は発生源となりやすいので、補植が終わり次第、早急に処分する。

ウ 今後の発生予察情報に注意する。

(4) その他

6月20日現在、本田における葉いもちの発生は確認していない。なお、平年の初発生日は6月23日である。

表1 好適条件出現回数と葉いもちの発生量との関係

中山間地域の6月6～20日の好適条件出現回数	過去17年間で各発生量が出現した確率(%)			予測される葉いもちの発生量 解説参照
	少	平年並	多	
0回	61	39	0	少
1～3回	17	50	33	平年並
4回以上	0	22	78	多

表2 予測される葉いもちの発生量と防除の目安

予測される葉いもちの発生量	本田における薬剤使用要否判断の目安(葉いもち)
少	水面施用剤を施用しなくても被害が発生する可能性は低い。
平年並	通常発生が少ないほ場では、水面施用剤を施用しなくても被害が発生する可能性は低い。通常発生が多いほ場等では水面施用剤を施用することで被害軽減効果がある。
多	水面施用剤の施用による被害軽減効果が高い。

用語の解説

「発生量」は過去17年間の発生ほ場率が1～5番目に高かった年を「多」、6～12番目を「平年並」、13～17番目を「少」としています。

【ほ場率が高い順番】

【発生量】



山口県病害虫防除所
 担当：野崎・岩本
 Tel 083-927-4006
 Fax 083-927-4071